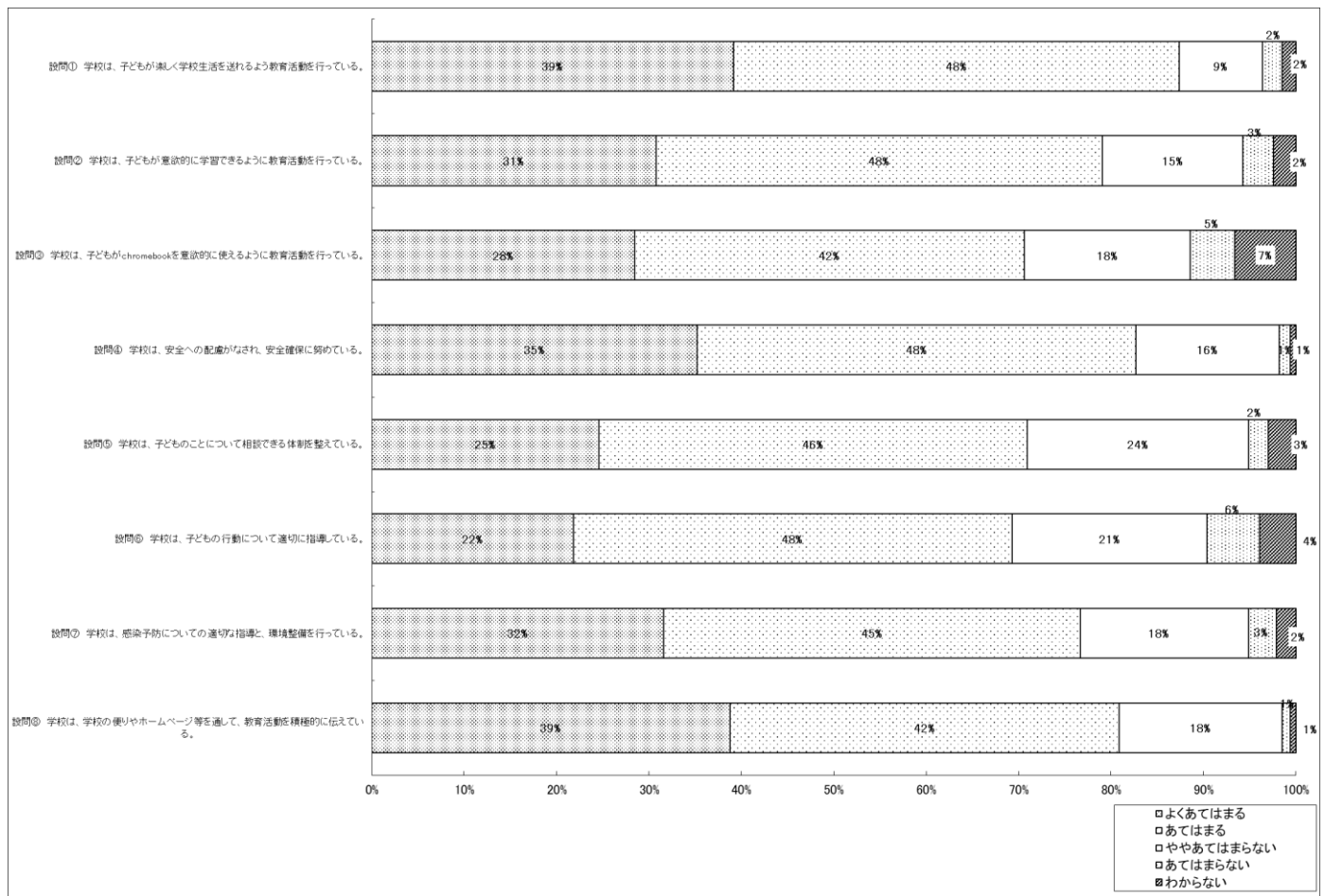


令和2年度

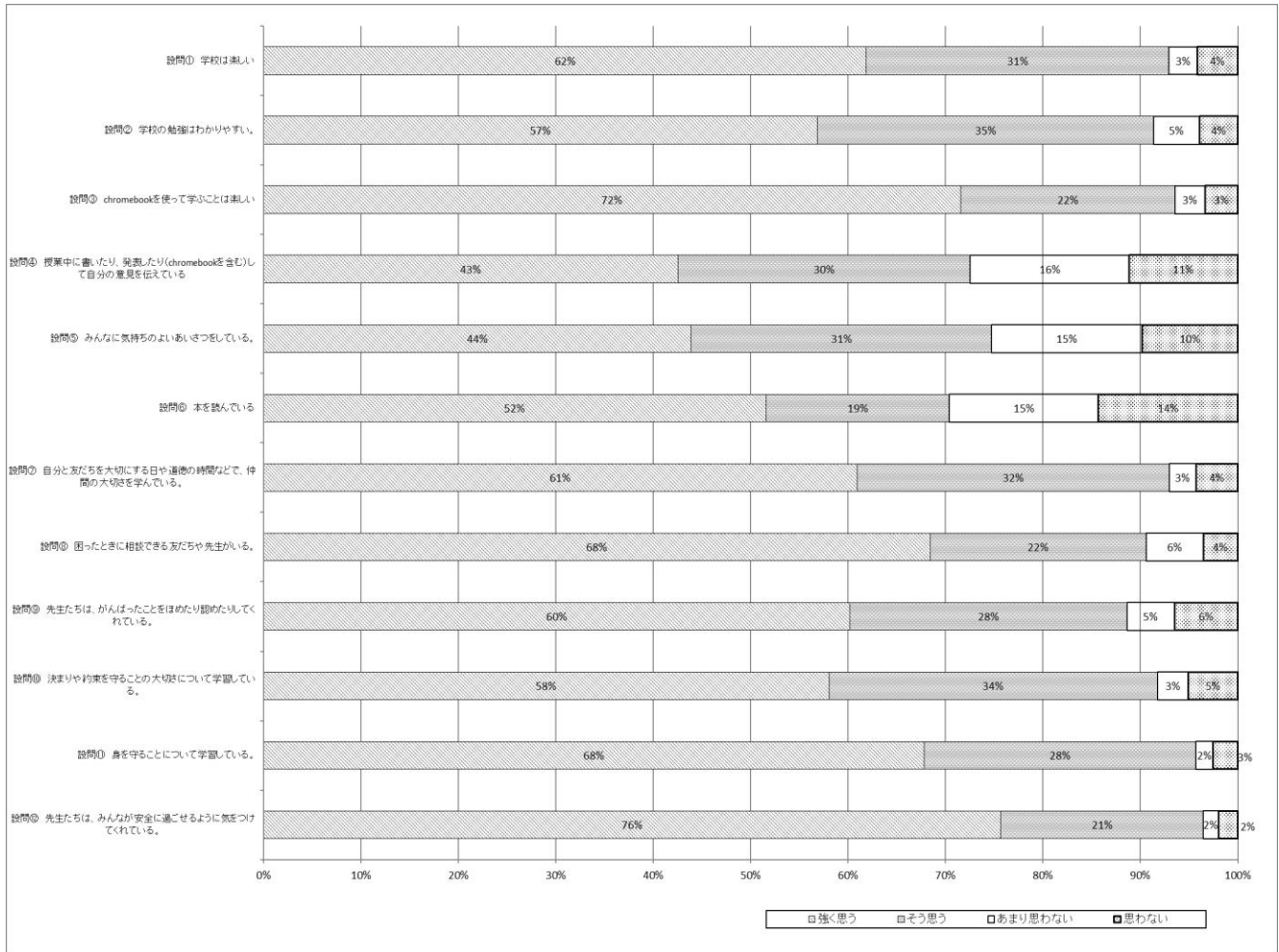
学校評価保護者アンケートならびに児童アンケート結果のお知らせ

この度は、令和2年度学校評価アンケートに、ご協力いただきありがとうございました。皆さまから335通（82%）のご回答をいただきました。学校評価は、学校教育法第42条に基づいて実施するもので、保護者の皆さまに教育活動のありようを評価していただきました。あやめ池小学校が、子どもたちはもとより保護者や地域の皆さまにとって真に魅力のある学校になることをめざして、評価結果を真摯に受け止め、今後の学校経営ならびに運営に生かしてまいります。本年度は、8項目について「よくあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」「あてはまらない」「わからない」の5段階で評価していただきました。その結果を以下にご報告いたします。

【保護者アンケート結果】



【児童アンケート結果】



《評価結果を学校改善に生かします》

①今年度の『学校への満足度』（「よくあてはまる」「あてはまる」の肯定的評価の合計）は、87.2%で、昨年度より4.2ポイントアップしています。また、児童対象の学校評価アンケートも行いましたが、児童の学校満足度は93%で、昨年度より5ポイントアップという結果でした。概ね本校の教育活動を肯定的に受け止めていただいているようです。しかし、7%の児童の否定的な評価は真摯に受け止めなければなりません。あやめ池小学校は、「やさしい笑顔があふれ、一人一人が輝く学校」を目指しています。子ども一人一人を大切に、分かる授業、豊かな心を育む教育活動等を更に推進し今後も学校改善に努めてまいります。

②肯定的評価が80%を超えた設問が、「楽しい学校生活」（87%）「安全への配慮」（83%）「ホームページや学校だより等での情報公開」（81%）の3項目でした。「学校は楽しい」の設問に保護者・児童とも80%を超えているのは何よりです。しかし、「学校は楽しい」の設問に否定的な回答をした13%の思いを大切に、学級づくりや学習活動に反映させることができるよう努めてまいります。

③本校は長年「地域と共に子どもを育てる」をテーマとし、地域の多様な人と関わる体験活動や地域と繋がる活動を推進してまいりました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、地域の多様な人と関わる体験活動ができませんでしたが、新型コロナウイルス感染状況をみながら、感染対策ができる取組については、少しずつ工夫しながら実施しました。

（裏面に続きます）

「お話の会」や図書館ボランティアの皆さまの協力を得て、「ブックトーク」「図書館の環境」の充実に取り組むことができました。しかし、児童アンケートの『自分から本を読んでいる』は71%と低い評価となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために図書館の利用に制限があったことも一因ではありますが、この結果を受け、来年度は今年度の取組を検証し、自ら本を手にする児童の育成を目指して、さらに取組を進めていきたいと思ひます。

④学習面では『意欲的に学習できるように教育活動を行っている』が79%という結果でした。児童は『勉強は分かりやすい』という設問に92%が肯定的でした。児童は学習意欲や授業理解への高い数値が得られましたが、約1割の児童が否定的ということも事実です。今後も授業改善や教材研究に積極的に取り組み、「分かる授業」「楽しい授業」の創造と基礎・基本の確実な定着に努めていきたいと思ひます。また、今年度新学習指導要領の実施における、教科道徳や外国語科の推進については今年度の検証を進め来年度の取組につなげたと思ひます。また、chromebook（タブレット PC）の活用について『意欲的に使えるように教育活動を行っている』は68%と低い結果ですが、今年度導入ということで、保護者の方には学校での活用がどのようなものかイメージしにくかったのではないかと考えられます。実際に学校で活用している児童は『chromebook を使った学習は楽しい』には94%が肯定的な回答でした。子どもたちが積極的に活用している様子がうかがえます。

⑤児童の「気持ちの良いあいさつ」は75%ができているという回答で少し低い結果でした。全校朝礼で、進んであいさつをすることを児童に呼びかけてまいりました。また、学級活動や道徳の時間においても指導を重ねております。あいさつはお互いが気持ちよく明るく生活する基本ととらえ、家庭や地域と連携し、自ら進んであいさつができる児童を育てていきたいと思ひます。また、児童アンケートで否定的な回答が多かった設問は特にありませんが、『困ったときに相談できる友だちや先生がいる』という設問に90%肯定的な回答でしたが、約1割が否定的でした。このことにつきましては、さらに児童と教職員の心開いた関係づくりにより一層努力してまいりたいと思ひます。

⑥『学校の相談体制』や『学校の子どもの行動への指導』、『感染予防と環境整備』についてはいずれも70%の肯定的な回答にとどまりました。このことにつきましては取組や学校体制を見直し来年度において改善していきたいと思ひます。

⑦『学校からの情報発信』の設問については、どちらも81%の肯定的評価でした。校区内もしくは中学校区内で発生した不審者事案については速やかにサポートネットの配信を通してお知らせいたしました。これからも、より速やかな情報の共有に努めてまいります。今年度「さくら連絡網」の導入により、緊急時や臨時の情報伝達も迅速にできると考えています。また、学校だよりを月二回、そしてホームページは毎日更新することを心がけ取り組んでまいりました。これからも、保護者や地域の皆さまに学校の教育活動や学校生活の様子を丁寧にお知らせしていきます。

《学校運営協議会の方々から学校評価についてご意見をいただきました。》

【1 教育活動に関するもの】

◇教育目標・教育計画 ◇教科指導 ◇道徳・特別活動 ◇総合的な学習の時間の指導
◇人権教育 ◇生徒指導 ◇進路指導 ◇特別支援教育

- ・学校として、行事や教育活動において児童の実態を明確に捉え、多様な取組を行っていることがすばらしいと思う。
- ・学校診断アンケートでは児童からよい評価を得ている。児童が学校で安心して楽しく学校生活を送っていることがよく分かる。
- ・様々な体験活動等、地域の教育力を十分に活かした教育活動が来年度行われていることを期待している。
- ・外部講師を招いての授業等、多様な指導形態が実践されている。
- ・課題となる評価項目については、結果だけではなく、背景にある社会的な要因や家庭の教育力等をよく鑑み、改善に向けての方策を考えてほしい。
- ・児童アンケートにおいて、少数であっても肯定的な評価をしていない項目については、真摯にとらえ改善策を考えてほしい。

【2 学校経営に関するもの】

◇組織運営 ◇研究・研修 ◇安全管理 ◇保健管理 ◇地域との連携 ◇小中一貫教育
◇施設・設備 ◇情報管理

- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域と協力しての教育活動は実施できなかった。来年度は感染予防と、活動の工夫をし、地域から多様な支援を受けて、地域を知り地域を愛する心の醸成させる体験学習を行いたいと思います。